

## 車中泊希望者受け入れ訓練報告書

日時：令和2年6月8日（月）  
場所：日高村社会福祉センター

### 1. 訓練スケジュール

- 10:00 車中泊希望者支援の必要性と訓練概要説明
- 10:30 受け入れ準備
  - ・駐車場のゾーニングと受付準備
- 11:00 訓練
  - ・車中泊希望者受付（聞き取り）
  - ・駐車場への誘導
  - ・巡回支援（点呼・状況確認）
- 12:00 振り返り（車中泊避難の検証）
- 12:30 終了

### 2. 参加者

- 1) 訓練参加者：高知防災プロジェクト7名、日高村社会福祉協議会3名  
山崎、廣井、川上、坂本、石川、古田（ゲスト）、山崎みなと（ゲスト）
- 2) 見学者：日高村20名、  
他自治体10名（高知市、香南市、土佐市、中土佐町、梶原町、佐川町）

### 3. 訓練の成果と明らかになった課題

- ・車中泊＝エコミークラス症候群と怖れるが荷台などフラットな状態か医療用着圧ストッキングでリスクは回避できる。
- ・段ボールベッドや間仕切りと比べると着圧ストッキングは安価で保管場所もとらず、運搬も容易である。
- ・事前に車中泊を認める条件（フラット、着圧ストッキング）を周知することが必要。
- ・自治体も着圧ストッキングの備蓄が必要
- ・自治体は車中泊を奨励しているとの誤解を与えないための広報例  
「避難所が定員を超える、間仕切りやベッドの配置が間に合わない場合など、やむを得ず車中泊も必要と認めた場合は車中泊スペースを開放する場合があります。車中泊はエコミークラス症候群の危険が高いため、①荷台など水平な状態を保てること、または②着圧ストッキングを着用する方を対象とします」  
と広報し、後は車中泊専用駐車場の候補地を選定（トイレ、洗面は必須）し着圧ストッキングの備蓄を行えばコストも含め車中泊はさほどハードルは高くない。

### 4. アンケート結果（見学の6自治体のみ抜粋）

- ・今回の車中泊希望者受け入れ訓練は今後の避難所運営の参考になると感じますか？

全回答数	6	
参考になる	5	83%
どちらともいえない	1	17%
参考にならない	0	

- ・あなたの市町村で車中泊希望者の支援の可能性をお聞かせください。

全回答数	6	
取り入れたい	1	17%
可能性を検討したい	5	83%
支援は無理と思う	0	

- ・車中泊希望者受け入れ訓練を自分の市町村で実施したいと思いますか

全回答数	6	
思う	0	
検討したい	6	100%
思わない	0	

#### 5. その他

- ・コロナに関係なく、南海トラフ地震で「臨時情報」が出された場合、沿岸部では車で避難する住民が殺到し避難所に収容しきれない状況が想定される。

#### 6. 成果

- 1) 指定避難所における車中泊に特化した訓練は全国初の実施地となった
- 2) 内閣府「避難所の開設・訓練のガイドライン」に優れた取り組みとして掲載予定
- 3) 取材：新聞社は在高の主要紙全社が取材
  - ①テレビ：NHKニュース、四国らしんばん（NHK）  
テレビはNHKとのコラボ企画の側面もありNHKのみに取材依頼
  - ②ラジオ：NHKニュース電話インタビュー（全国放送）、FM高知電話インタビュー
  - ③新聞：朝日新聞、毎日新聞、高知新聞、日本経済新聞、建通新聞  
読売新聞（全国版6月20日前後掲載予定）
  - ④WEB：朝日DIGITAL、毎日新聞ニュース、日本経済新聞、YAHOOニュース  
産経フォト、建通新聞、高知新聞  
WEB版は「車中泊避難訓練」で検索するとヒットします。

### 訓練の様子



